

# 目次

口絵 I

凡例 vi

## プロローグ

イールズ事件とは…………… 1

大学史上の汚点／イールズ事件の概要／闇の中の真相／イールズ事件と今日／  
本書の課題

## 第一章 迫り来る逆コースの足音―戦後初めて保障された学問の自由とその危機―

一 戦前・戦後における学問の自由と大学自治…………… 9

帝国大学の制度的位置づけ／大学自治の慣行化／旧制度下の大学自治の特質／  
大学自治と学問の自由の関係／荒木文相の大学自治攻撃／南原繁の反論／敗戦  
時の南原のメッセージ／「大学の自由」と「真理の戦」／大学再建と新日本建  
設の息吹／学問の自由と大学自治の法的保障の成立／日本国憲法第二三条成立

二 対日占領政策転換前後のイールズの任務…………… 38

の歴史的意義／大学人の連合組織の誕生／学生自治会の誕生と全学連の結成  
イールズの経歴と当初の任務／宮城県内高等教育協議会でのイールズ講演／対  
日占領政策の転換とイールズの新任務／CIEの当初の共産主義対策／CIE  
の共産主義対策の転換

三 新潟大学でのイールズ講演とその波紋…………… 48

新潟大学でのイールズ講演／レッド・パージ推進の法的布石／高瀬文相のレ  
ッド・パージ勧告／南原繁のイールズ声明批判／相次ぐイールズ声明批判／イ  
ールズの大学管理法案／大学法対策全国協議会の結成／イールズの反共講演行脚／  
なぜ東大には訪れなかったか

## 第二章 イールズ旋風の来襲と反撃―イールズの東北大学訪問と講演中止事件―

一 イールズ一行東北大学訪問の経緯と学内の動向…………… 75

イールズ一行訪問の文部省通知／文部省と各大学事務官の事前折衝／学長のイ  
ールズ一行来学要請／学内での対応／学生の参加問題／講演会場の変更と休講問  
題／学生の抗議行動の発生／「細胞会議」と闘争方針の決定／メーデー当日の  
抗議行動の高まり／講演会前夜の大学の対策協議

二 イールズ講演中止と学生大会・懇談会の開催	107
イールズの講演予定原稿／イールズ講演の中止／学生大会の開催と声明文の発表／懇談会でのイールズと高橋学長の応酬	
三 イールズ講演中止事件後の学内外の動向	124
GHQの受けた衝撃／学生の逮捕／大学当局の対応と全学学生躍起大会の開催／中川善之助の学長正補佐就任／経済学部有志大会開催と入学式延期／GHQの不起訴決定／政府・文部省の対応／学生団体・労働団体の反応／報道しなかつた『アカハタ』／全学連調査団の来学／大学の声明文告示／学生の反駁／各学部学生大会と全学反戦学生大会の開催	
第三章 イールズ旋風の跡―学内処分と北海道大学との対比―	
一 臨時調査委員会の設置・報告と学内処分	157
臨時調査委員会の設置／臨時調査委員会の調査と報告／学内処分をめぐる審議／経済学部教授会の処分審議と提案／処分の決定／処分の告示／学生の抗議行動／第二次処分と加重処分／停学解除	
二 北海道大学の反イールズ闘争と「事件」	187
反イールズ闘争の方針／共同闘争組織の成立／東北大ではなぜ共闘できなかったか／やりこめられたイールズ／「北大イールズ事件」とは／GHQ・文部省の圧力と学内処分／退学処分の解除	
三 レッド・パージ反対運動の高揚と大学教員パージの頓挫	209
レッド・パージ反対運動の高揚／学生運動対策の強化／大学教員パージの頓挫	
エピローグ	
イールズ事件への問い、イールズ事件からの問い	219
イールズは誰と闘ったのか／イールズの悲劇／「イールズ旋風」の傷跡／東北大当局の姿勢の問題点／高橋里美学長の回想／元学生たちの問い／大学管理法案と国立大学法人化	
参考文献一覧	243
あとがき―大学アーカイブズの必要性―	249